

音楽史に燦然と輝く

3大

ピアノ協奏曲の

饗宴



ピアノ
稲垣 拓己



ピアノ
中桐 望



ピアノ
梅村 知世

アンサンブル早島 第19回定期演奏会

Ensemble Miyashima 19th Annual Concert



指揮
江島 幹雄

(くらしき作陽大学特任教授)

ゲストコンサートマスター
高旗 健次 広島大学大学院 教育学研究科教授

ショパン/ピアノ協奏曲 第1番 ホ短調 作品11 (pf.稲垣拓己)

ベートーヴェン/ピアノ協奏曲 第5番 変ホ長調 作品73「皇帝」(pf.中桐 望)

ラフマニノフ/ピアノ協奏曲 第2番 ハ短調 作品18 (pf.梅村知世)

2019

2/17

13:30開場
14:00開演

倉敷市民会館

入場料(全席自由)：一般1,000円 高校生以下500円

※駐車場に限りがありますので、できるだけ公共交通機関、または乗り合わせでご来場ください

□チケット取り扱い

倉敷市民会館 TEL 086-425-1515
アルスクらしきチケットセンター TEL 086-434-0010
早島町民総合会館ゆるびの舎 TEL 086-482-4800
岡山シンフォニーホールチケットセンター TEL 086-234-2010
アルテゾーロ・クラシカ TEL 086-224-6123

主催：アンサンブル早島
後援：早島町教育委員会・倉敷市教育委員会・山陽新聞社
RSK山陽放送・FMくらしき・倉敷ケーブルテレビ

お問い合わせ：TEL 090-6401-7989(青葉)

チケット
発売日
11/17(土)

江島 幹雄 【指揮】



東京藝術大学及び同大学院修了。ヴィオラを内田博、浅妻文樹、井上武雄、ウィリアム・プリムローズの各氏に師事。室内楽をルイ・グレーラー氏に師事。また、指揮法を山田和男氏に師事する。東京都交響楽団ヴィオラ奏者として活躍の後、作陽音楽大学（現くらしき作陽大学）に赴任。この間コンチェルトのソリストや数多くの室内楽の演奏会に出演する。

1982年より18年にわたる「アルシェ弦楽四重奏団」の活動をはじめ、2001年3月の国立ブルガリア室内オーケストラと共演したChr. バッハのヴィオラコンチェルトは、その卓越した技巧と豊かな音楽性により高い評価を受ける。一方、指揮者として「作陽音楽大学弦楽合奏団」、「マルテロ室内合奏団」の常任指揮者を歴任。1984年に「倉敷ジュニア・フィルハーモニーオーケストラ」の設立に参加、以来常任指揮者及び音楽監督を務め青少年の音楽育成に情熱を傾けている。

1985年・86年に中国政府の招きにより、北京中央音楽院でのオーケストラ指導のため訪中。1985年・1999年には倉敷ジュニア・フィルハーモニーオーケストラを率い北京・上海・蘇州にて演奏会を開催。2002年には常任指揮者を務める「倉敷アカデミーアンサンブル」を率いニュージーランド公演を成功させる。近年では、岡山県出身の若手演奏家を支援する「アンサンブルくらしき」の活動をバックアップしている。2018年3月に倉敷市立短期大学学長職を退任後、くらしき作陽大学特任教授に就任。現在、倉敷ジュニア・フィルハーモニーオーケストラ音楽監督、倉敷アカデミーアンサンブル常任指揮者、アンサンブル早島音楽監督、くらしき作陽大学特任教授。

中桐 望 【ピアノ】



岡山市に生まれ、3歳よりピアノを始める。

岡山城東高校を経て、東京藝術大学音楽学部器楽科ピアノ専攻を首席で卒業、同大学院修士課程を首席で修了。第17回吹田音楽コンクール第1位。第78回日本音楽コンクール第2位。第3回ロザリオ・マルシアーノ国際ピアノコンクール（ウィーン）第2位、併せてコンクール委嘱新曲課題曲の最優秀演奏者に贈られる Sonja Huber 賞受賞。第58回マリア・カナルス国際音楽コンクール（スペイン・バルセロナ）第2位、併せて聴衆賞受賞。第8回浜松国際ピアノコンクールでは、歴代日本人最高位となる第2位を受賞し注目を集める。2014年より、ロームミュージックファンデーション奨学生としてポーランドで研鑽を積み、2015年にデビュー CD「ショパン&ラフマニノフ」（オクタヴィアレコード）をリリース。ショパンの演奏が高く評価され、2015年度日本ショパン協会賞を受賞。現在は国内で演奏活動を行うほか、後進の指導にも力を注いでいる。

中桐 望 オフィシャルサイト www.nakagirinozomi.com

梅村 知世 【ピアノ】



岡山県出身。岡山県立岡山城東高等学校を経て、東京藝術大学を首席で卒業。同大学院修士課程修了。現在はベルリン芸術大学国家演奏家資格課程にてクラウス・ヘルヴィッヒ氏の下で研鑽を積んでいる。文化庁新進芸術家海外研修生、ローム・ミュージックファンデーション奨学生。

第34回ピティナ・ピアノコンペティション、特級グランプリ及び聴衆賞を受賞。第20回シュナーベル国際コンクール第2位、第17回ロベルト・シューマン国際コンクール最高位等国内外で活躍している。

日本全国各地、ドイツ、ポーランド、アメリカ、オーストリア、イタリア等で精力的に演奏活動を行う。東京交響楽団、東京フィル、東京シティ・フィル、藝大フィル、岡山フィル、ブラウエン・ツヴィッカウフィル（ドイツ）等多数共演。第12回岡山芸術文化賞グランプリ受賞。オクタヴィア・レコードよりデビュー CD「シューマン」をリリース。これまでに、ピアノを内山優子、津田恵子、北島公彦、クラウドディオ・ソアレス、ガブリエル・タッキーノ、伊藤恵、ピアノデュオを角野裕、室内楽を藤森亮一、鈴木理恵子、松本和将、伊藤恵各氏に師事。

<http://www.tomoyo-umemura.com/>

稲垣 拓己 【ピアノ】



6歳から安藤佐和子氏の下でピアノを9歳から倉敷ジュニアフィルでヴァイオリンを始める。11歳からはピアノを土居里江氏ヴァイオリンを安藤律子氏に師事。倉敷音楽アカデミーピアノ部門で岩崎淑氏同ジュニア部門で松本和将氏の指導を受けた。

ピティナ・ピアノコンペティション全国決勝大会 C 級銅賞 D 級ベスト賞、ショパン国際ピアノコンクール in ASIA アジア大会銅賞など7歳からピアノコンクールで入賞多数。倉敷市立東中学校2年時、第69回全日本学生音楽コンクール中学校の部全国大会第1位を受賞した。ソリストとして、11歳で倉敷ジュニアフィルと共演、12歳でソリサイタルを開催、13歳で岡山フィルハーモニック管弦楽団と共演。2017年度には「倉敷市」50周年記念式典ゲスト出演、第26回国際音楽祭「ヤングブラハ」チェコ各地でリサイタル、チェコ大使館で演奏、アンサンブル早島とラフマニノフピアノ協奏曲を共演。2018年第34回ワルセシア国際音楽コンクール第3位、第8回オーゾモ国際ピアノコンクールで第1位を受賞した。

現在特別招待奨学生として東京音楽大学付属高校ピアノ演奏会コースエクセレンス2年生。学内で川島基、海原京子、野島稔の各氏に師事している。

アンサンブル早島

「音楽を聴くのも好きだけど、自分でも演奏してみたい。一人ではなくて、仲間と合奏できたら・・・」そんな望みがかなえられる場としてできたのが「アンサンブル早島」です。

「アンサンブル早島」は岡山県の早島町中央公民館で開かれた「弦楽アンサンブル教室」を出発点とし、定期演奏会は2000年に第1回を開催。現在は、早島町の「ゆるびの舎」を活動拠点に、約50名の弦楽愛好者が「倉敷アカデミーアンサンブル」の先生方にご指導いただきながら、練習を楽しんでいます。